

第4学年道徳学習指導案

4年1組 指導者 森重孝介

主 題 本当の親切とは

本教材 心と心のあくしゅ（出展：文部科学省 わたしたちの道徳 小学校3・4年生）

1 主題について

本学級の子どもたちは、親切とは席を譲ったり、友だちに優しい声をかけたりすることだと考えている。しかし、友だちとのかかわりの中で、自己中心的な考えが強くなり、相手よりも自分を優先してしまう子どももいる。このような子どもたちが、本当の親切とはどのようなことかを考えていく。このことは、相手の立場や気持ちを自分事として考える大切さに気付くことにつながるであろう。

本時は、内容項目B「親切、思いやり」に基づき、子どもたちが、相手のことを思いやり、親切にしようとする態度を養う学習である。子どもたちは、親切について自分事として考えることで、よりよい人間関係を築くためには、相手の立場や気持ちを考えた思いやりのある行為が必要であることに気付くであろう。本教材「心と心のあくしゅ」は、下校時に荷物を重そうに持っている老婆と、はやとが会う場面から始まる。はやとは「荷物、持ちます」と声をかけるが、老婆は断る。「せっかく声をかけたのに」と思うはやとであるが、母親の話聞くことで、老婆が断った理由を知る。数日後、再び老婆に出会うが、今度は声をかけず、心の中で応援しながらそっと見守る。はやとは、声をかけた初めの自分と比べながら、本当の親切とは何かを考えていく。困っている人に席を譲ったり、友だちに優しい声をかけたりする行為は親切であると考えている子どもたちは、声をかけたはやとの行為を自分事として捉えていくであろう。そして、老婆を見守ったはやとの思いに自我関与する中で、本当の親切についての考えを深めていくようにしたい。

そこで、以下のような視点を具体化する。


- はやとの行為について感想をペアで交流するように促す。そうすることで、仲間の感想と比較しながら、親切な行為について自分なりに考えをもつことができるようにする。
- 声をかけたはやとや見守ったはやとについての感想や自分の考えを類別して板書し、「何が違うのだろうか」と問う。そうすることで、見守ったはやとの相手を思う気持ちの深さに気付き、本当の親切についての考えを深めることができるようにする。
- はやとの行為や思いについて「自分だったらどうか」と問い返し、さらに「同じような経験はあるか」と問う。そうすることで、親切について自分事として考えることができるようにする。
- 「今までの自分」や「これからの自分」を観点に振り返りを行うように促す。そうすることで、親切にしようとする態度を養うことができるようにする。

2 本時案 【平成29年5月23日 14:05～14:50 4年1組教室】

- (1) ねらい はやとの行為について話し合うことをとおして、相手を思いやる大切さに気付き、相手の立場や気持ちを自分事として考えて、親切にしようとする態度を養う。

資質・能力
①活用できる知識・理解
②自ら問題を見付ける力・解決する力
③根拠をもとに筋道を立てて考える力
④自分や仲間の考えを問い直す力
⑤様々な角度から自分の考えを創り出す力
⑥自分の思いや考えを分かりやすく伝える力
⑦仲間の考えを受けとめる力
⑧仲間の考えを求めめる力
⑨自分の学びを振り返る力
⑩自分から学びに向かう力
⑪人間性(感性、達成感など)に関すること

(2) 学習過程

学習活動／子どもの意識	支援
<p>① 親切にした経験を想起する (5分)</p> <p>学習内容 ・今の親切についての捉え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親切って人に優しいことだと考える人が多いのだね。 ・席を譲ることも親切と考える人がいたよ。 ・親切ってとても大切だよ。 	<p>○はやとの行為について感想をペアで交流するように促す。そうすることで、仲間の感想と比較しながら、親切な行為について自分なりに考えをもつことができるようにする。</p>
<p>② 本当の親切について話し合う (30分)</p> <p>学習内容 ・相手の気持ちを自分事として考える難しさ ・親切についての価値観の深まり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分だったら声をかけそうだけど、はやとはおばあさんを見守ったのだね。 <p>A ぼくだったらすぐに声をかけるよ。声をかけるのをがまんして、ずっと見守ったはやとってすごいよね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は知らない人に声をかけるってはずかしいのだけれど、声をかけるっていけないことなのかなあ。 ・いけないことではないと思う。知らない人に声をかけることってむずかしいと思うよ。はやとって、優しいのだから。 ・私もはずかしいからできないよ。勇気があるよね。 <p>B でも、はやとが本当の親切が少し分かったと思ったのは、見守った方だよ。私はどちらも親切だと思うのだけれど、はやとがそう思ったのはなぜだろう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> どちらも親切だけど、何か違いがあるの </div>  <ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんの顔がにっこりしているのは同じだけど、うれしそうな顔をしているのは違うよ。 ・はやとの心が明るくなっていることが違うよ。本当の親切が何なのか分かったのだね。 ・おばあさんのことを知らないのと、知っているのでは違うのではないかな。 ・知ることでおばあさんの気持ちが本当に分かったのだね。 <p>B だから、気持ちが分かり、心と心であくしゅしたのか。</p> <p>A でも、気持ちが分かるのって難しいよね。おばあさんの気持ちを分かるよという思いがないとできないよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は、相手と同じ気持ちになったなあと感じたことがあるよ。 <p>B そうだね。声をかけることも親切なのだけれども、本当の親切って、自分が相手と同じ気持ちになることなのだね。</p>	<p>○声をかけたはやとや見守ったはやとについての感想や自分の考えを類別して板書し、「何が違うのだろうか」と問う。そうすることで、見守ったはやとの相手を思う気持ちの深さに気付き、本当の親切についての考えを深めることができるようにする。</p> <p>○はやとの行為や思いについて「自分だったらどうか」と問い返し、さらに「同じような経験はあるか」と問う。そうすることで、親切について自分事として考えることができるようにする。</p> <p>○以下の観点で振り返りを行うように促す。そうすることで、親切にしようとする態度を養うことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分 ・これからの自分
<p>③ 親切について振り返る (10分)</p> <p>学習内容 ・相手のことを考えて親切にしようとする態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親切って、ただ優しくすることだけじゃないって分かったよ。 <p>A これからは、相手のことを自分だったらと考えて親切にしようと思うよ。</p>	

6 板書計画

